

施工体験記

除雪作業委託（緊急施行）奥の2

(株)武田組 現場代理人 戸澤 太一

この程、東京都西多摩建設事務所長より平成24年度優良工事として表彰を頂き、大変名誉な事と感謝しています。また、一昨年に引き続き今回で除雪での表彰は3回目となり、今回代理人を努めた私としても努力が報われた思いがすると共に、当社でも長年に渡りこの区間の除雪作業を行ってきた事を誇りになり嬉しく思います。

本作業委託は、奥多摩周遊道路の奥多摩町と檜原村の境（月夜見第二駐車場）から檜原村数馬地内（九頭竜橋（周遊道路終点））までの約9kmを調査・除雪及び融凍材を散布する作業でした。

道路巡回、又は、除雪作業は、前日に担当監督員から指示を受け作業にあたりました。

朝6時に九頭竜橋を出発し、九頭竜橋から月夜見第二駐車場までの路面の確認を行い、7時には担当監督員に通行可能か通行困難かを、報告を行いました。

積雪時には、通行止めを早期開放するため、タイヤショベル・除雪車を増やし、早期解放に努めました。

除雪時は、九頭竜橋から都民の森までの優先区間（約4km）を朝9時までに、通行可能にし、続いて都民の森から月夜見第二駐車場までの間を、早期通行可能に出来るよう除雪作業にあたりました。

又、道路開放が出来る時間（目標）を決め、その時間内に除雪及び融凍材散布を行い、無事道路開放出来た時は、ホッとした事を思い出します。

今回は、降雪回数は少ない反面、路面の凍結による出動回数が多く、融凍材の在庫を考慮しながら施工となった。氷点下のなか融凍材を人力積み込みによって、腰に大分負担が掛かった事も思い出します。

そうしたなかで、建設局の監督員や関係職員の方々の御指導を頂き、協力会社、地域住民の皆様のご協力の元、無事終える事が出来ました。

誠に有り難うございました。



このような貴重な体験をさせて頂き、西建協若手経営者の会代表幹事並に関係者の皆様により感謝申し上げます。



早速ですが、先日開催した大型工事現場視察には多くの皆様のご参加を頂き、ありがとうございます。

早速ですが、先日開催した大型工事現場視察には多くの皆様のご参加を頂き、ありがとうございます。



この度、視察・研修を行った場所は、長崎にある「端島」通称「軍艦島」。

そこで生活していた人々の活気を今でも感じることが出来ました。また、もう一つ驚かされたのは、島の周りを囲む護岸。軍艦島は天候・海からの災害を大変受けやすい所にあり、大波は時として島を飲み込むほどで、台風も大きな被害をあたえたと言われました。

そのような過酷な状況で護岸擁壁造りに用いられたのは天川（アマカワ）という石積み工法でした。砂岩である天草石を天川（赤土・石灰を混ぜた）と呼ばれる接着剤で接合して行われていました。現在の軍艦島は、コンクリートの護岸に見えますが、当時の天川での護岸に鉄筋コンクリートで補修・補強を行った姿になります。視察をしていてコンクリート部分がはがれ、天川の石積が露出している部分も見ることが出来る、当時の技術が現在も護岸として機能していることに感動しました。



西建協だより

220号

2012年
11月

西

技術安全委員長就任のご挨拶

理事 武田 雅由（株）武田組

本年六月より技術安全委員長という大役を仰せつかりました株式会社武田組、武田と申します。

重責ではありますが、諸先輩方のご尽力と委員の方のご協力を頂き、微力ながら勤めてまいりたいと思います。

我々建設業界は、激しいダンピング競争受注により各社の運営・現場管理に大きな影響を与えていると思います。

また、今後総合評価方式による工事案件が増えると言われている中、技術力の更なる向上、そして一番重要な安全についてはよりいっそう重点を置く必要があると思います。

そうした観点等により昨年度まで事業委員会の一部会でありました当委員会は、この程技術安全委員会として独立し、活動を始める事となりました。

早速ですが、先日開催した大型工事現場視察には多くの皆様のご参加を頂き、ありがとうございます。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

また、今後、技術講習会並びに西建協独自で現場パトールを実施する予定です。

若手経営者の会視察・研修旅行について

小池建設(株) 小池 啓太

この度、視察・研修を行った場所は、長崎にある「端島」通称「軍艦島」。

そこで生活していた人々の活気を今でも感じることが出来ました。また、もう一つ驚かされたのは、島の周りを囲む護岸。軍艦島は天候・海からの災害を大変受けやすい所にあり、大波は時として島を飲み込むほどで、台風も大きな被害をあたえたと言われました。

当日の予定は五時三十分組合駐車場出発。十時二十五分長崎空港着、長崎市内で昼食をとり、午後一時三十分から午後四時三十分「軍艦島」上陸。視察・研修というスケジュールでした。

そのような過酷な状況で護岸擁壁造りに用いられたのは天川（アマカワ）という石積み工法でした。砂岩である天草石を天川（赤土・石灰を混ぜた）と呼ばれる接着剤で接合して行われていました。現在の軍艦島は、コンクリートの護岸に見えますが、当時の天川での護岸に鉄筋コンクリートで補修・補強を行った姿になります。視察をしていてコンクリート部分がはがれ、天川の石積が露出している部分も見ることが出来る、当時の技術が現在も護岸として機能していることに感動しました。

軍艦島とは、長崎港から南西に約一九kmの沖合に位置し、南北に約四八〇m、東西に約一六〇m、周囲約一二〇〇m、面積約六三〇〇㎡という小島で、遠望（下写真）が当時の戦艦「土佐」に似ている。

一八一〇年頃に石炭が発見され、一八九〇年三菱合資会社の経営となり、その後百年以上にわたり海底炭坑として操業された。出炭量が増加するにつれて人口も増加し、最盛期には約五三〇〇人もの人々が住み、当時の東京都の九倍もの人口密度にまで達した。一九一六年には日本で最初の鉄筋コンクリート造七階建の集合住宅が建設された。また、娯楽施設やお寺（泉福寺）もあり、二〇一二年現在、台風、大波等の影響を受けてはいましたが、当時の面影、

第20回地区別ソフトボール大会の報告

青梅市民球技場（野球場A／B面使用）において、「西建協特別ルール（守りは10人、攻撃においては各チーム参加者全員が順番にバッターボックスに立つ）」行なわれました。

第1試合は予定時刻に始まり、Aグラウンドは羽村地区チームが勝ち進み、Bグラウンドの勝ちチームは秋川流域地区チームとなりました。

第2試合の、Aグラウンドは決勝戦、羽村地区チームが勝ち、第16回大会より連続しての優勝となりました。
Bグラウンドの3位決定戦は、奥多摩地区チームが勝ちました。

1回戦

(Aグラウンド)

青 梅	3	2	0	1	0	0	1	7
羽 村	4	2	0	4	4	6	×	20

(Bグラウンド)

奥 多 摩	0	0	2	2	0	1	0	5
秋川流域	0	0	0	3	0	0	3	6

2回戦

優勝決勝戦

秋川流域	2	0	0	4	0	0	2	8
羽 村	13	4	0	0	2	1	×	20

3位決定戦

青 梅	1	4	0	1	0	1		7
奥 多 摩	5	4	1	0	2	×		12

◇お 知 ら せ◇

第14回西多摩地区安全衛生大会（西多摩分会）

日時 12月6日（木） 午後1時30分～午後4時30分

会場 羽村市生涯学習センター ゆとろぎ 小ホール

主催 建災防西多摩分会・青梅労働基準監督署他三団体

1部 安全衛生活動事例発表

建災防西多摩分会会員 奥多摩建設工業㈱

2部 特別講演

「安全な職場づくり・人づくり」

(有)アイタック 代表取締役 板倉 健一 殿

10月事業報告

3日 建設現場安全パトロール実施（西多摩分会）

12日 広報委員会 219号編集発行

14日 西建協・若手経営者の会 研修視察実施

16日 事業委員会

16日 総務委員会

17日 理事会

25日 24年度 大型現場視察（技術安全委員会）

視察先 首都圏中央連絡自動車道（神奈川県区間）

①川尻トンネル工事 ②相模川橋梁工事

31日 西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会

研修会及び第7回総会開催 110名出席

11月事業計画

8日 若手経営者の会 役員会

9日 秋川流域委員会

10日 西建協 第20回 地区対抗ソフトボール大会
午後1時～ 参加者48名

会場：青梅市民球技場野球場A・B面

優勝：羽村地区チーム

12日 広報委員会 220号編集発行

12日 総務委員会

14日 事業委員会

15日 理事会

20日 平成24年度 技術講習会（技術安全委員会）

時間 午後6時30分～

会場 あきる野ルピア 3階 ホール

27日 技術安全委員会

『建設教育訓練助成金』終了のご案内

西多摩建設業協同組合

日建学院青梅認定校

初冬の候、会員の皆様方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の『建設教育訓練助成金』終了につきましてご案内いたします。当組合が日建学院認定校として開講をしております「1級・2級土木施工管理技士」「1級・2級建築施工管理技士」のコースに適用されております、助成金制度が平成25年3月末日で終了いたします。ただし、平成25年4月1日以降の講義であっても、3月末迄に入学手続きをしていただければ適用になります。

尚、この制度は費用が会社負担であって受講者が雇用保険に加入していれば適用になります。助成される金額は学費の50%最大10万円になります。

又、7月10日付け日本経済新聞に、『建設下請けに評価制度導入』という記事が載っておりました。

下請け業者の経営状態だけではなく、従業員の研修制度があるかなども評価されるようです。

資格者を増やしておくことは今後の評価に有利になると思われます。会員の皆様だけではなく、下請け企業にもこの『建設教育訓練助成金終了』を告知いただき、今後の評価制度に対応できるよう資格取得を勧めていただければと存じます。

下請け業者用の案内文（別紙11月19日案内予定）を協力業者にFAXなどで、告知をいただきますようお願い申し上げます。

参考までに、『建設下請けに評価制度導入』は国土交通省建設産業戦略会議が7月10日に公表しました『建設産業の再生と発展のための方策2012』に盛り込まれております。昨年の『建設産業の再生と発展のための方策2011』には社会保険未加入対策の徹底が提言されております。

その結果今年11月1日より建設業の社会保険未加入対策が本格化をしてきました。

講座の資料請求などは、11月19日別紙配布（メール配布）の用紙に記入の上、組合までFAXをお願いいたします。

日建学院より説明いたします。

電話での問い合わせは、日建学院までお願いいたします。

問い合わせ先

日建学院 立川校 042-527-3291

担当 澤田（090-3545-5368）

◇ 日建学院青梅校（西建協）からのご案内 ◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』

◎2級建築士学科（日曜）コース 講義日程 12月中旬スタート

◎1級建築施工管理技士学科講座 講義日程 2月初旬スタート

◎1級土木施工管理技士学科講座 講義日程 3月中旬スタート

1級建築施工・1級土木施工は、学費が会社負担の場合「建設教育訓練助成金」が受けられ学費の50%（最高額10万円）が助成されます。

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講（5年目）致します。会員企業の皆様からの受講問合せ（受講申込）等の連絡をお待ちしております。

＊詳細説明は随時致します。

＊先ず下記までお問合せ下さい。

＊連絡先 青梅校（西建協）事務局 0428-22-6245 石川
日建学院立川校 042-527-3291 担当：澤田